

平成 29 年度 芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「書Ⅱ」 (教育図書)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・書道Ⅰでの学習を深め、篆書・隸書・草書などの書体について学び、漢字の五書体の基本用筆を身に付けましょう。
- ・作品の構成や文字の表現を工夫し表現する能力を身に付けましょう。
- ・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の学習を通して、多様な書法を意欲的、主体的に学び、古典の美の価値を感じ取ろうとしている。	古典の特徴を捉え、習得した技法を自身の表現活動に生かそうとしている。	習得した表現の能力を生かし、創造的な表現の技法を身に付け表している。	書の美の多様性、書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を理解し、その良さや美しさを味わっている。
評 価 方 法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	「隸書の学習」 ・基本点 画 ・曹全碑	・隸書の成立 ・逆筆、藏鋒、波磔、 転折、はらい ・字形について	○	○	○		a 隸書の字形や用筆の特徴に関心を持っている。 b 曹全碑の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c 曹全碑の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d 隸書の字形や用筆の特徴を理解している。	観察 レポート ワークシート 提出作品
6	「篆書の学習」 ・甲骨文 ・金文 ・小篆	・篆書の成立 ・逆筆、藏鋒 ・字形について	○		○	○	a 篆書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。 b 篆書の基本的な用筆や特徴をとらえ、各時代の篆書の書風を生かした表現を工夫している。 c 篆書の基本的な用筆を身に付け、横平竖直・左右相称・等間隔といった字形の特徴を捉えて表現することができる。 d 漢字の最古の書体であると言われる篆書体を学び、文字の起源について理解し、篆書体の美しさを感じることができる。	観察 レポート ワークシート 提出作品
7	「篆刻」 ・四字印 の制作	・篆書から篆刻へ ・布字章法 ・印刀の使い方 ・押印の効果	○	○	○		a 印の歴史や篆刻の表現について理解しようとしている。 b 篆書の特徴を生かして、印稿を構想し、印刀の特徴を生かして運刀できるように工夫している。 c 篆刻の技法を理解し、正しく印刀を使い、印刀ならではの線を活かして刻することができる。 d 落款と雅印の意味とその役割について理解し、印の美しさを感じることができる。	観察 レポート ワークシート 提出作品

9	「草書の学習」 ・書譜 ・連綿草(自叙帖) ・草書の創作	・草書の成立 ・特徴 ・連綿 ・創作(半切1/2 2～3字)	○	○		○	a 草書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。 b 各古典の字形や用筆などの特徴を捉え、連綿の技法について理解し、書風を生かした表現を工夫している。 c 単体で書かれた作品と連綿草の作品の技法や表現の違いについて理解し、それぞれの作品の良さを生かし、線の太細や運筆のスピード、構成に変化をつけて、表現をすることができる。 d 単体で書かれた作品と連綿草の作品のそれぞれの良さを理解し、草書の美しさを感じることができる。	観察 レポート ワークシート 提出作品
11 12	「漢字仮名交じりの書」 ・カレンダー制作	・漢字仮名交じりの書の表現 ・言葉を大切にすること ・字形、線の太細、墨の潤湿、運筆のスピード、構成等の工夫 ・書風の多様性		○	○	○	a 自己の意図に基づき、様々な表現を試みることに意欲的に取り組んでいる。 b これまで学んできた技法や表現の工夫を生かして、様々な書風を表現しようとして工夫している。 c 線の太細や墨量、運筆のスピード、字形等の変化、行間の美しさや言葉の意味を生かした構成などを構想し、表現することができる。 d 用具・用材の使い方や構成の工夫などによる表現の多様性について理解している。	観察 レポート ワークシート 提出作品
1 2	「刻字」 ・木彫作品の制作	・2～4字の刻字作品制作 ・字句選び ・字調べ ・五書体の特徴おさらい ・木彫の技法 ・彩色の工夫	○	○			a 刻字に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b 刻字の技法を理解し、刻し方や彩色の方法と刻す文字との関係性を考え、表現を工夫している。 c 刻字の準備と手順について理解し、刻字の特徴と草稿を生かした表現をすることができる。 d 本来文字は木や石などに刻まれて表現されていたことを理解し、刻字の意義について感じ取ることができる。	観察 レポート ワークシート 提出作品

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度 b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。